

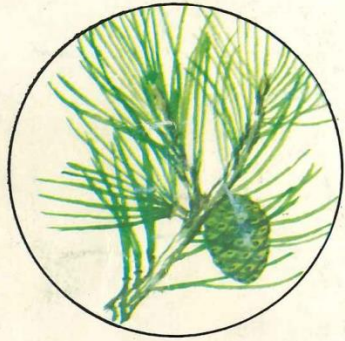
# 市の花・木・鳥

(昭和54年4月25日制定)



## 市の花 「梅」

早春に香り高い花を開く梅は、昔から庭木や盆栽として観賞されてきました。市内には果実栽培の梅林も散在します。五弁の花は、5ヵ町村の合併で誕生した都留市を象徴しています。



## 市の木 「赤松」

常緑樹の赤松は、めでたい門松に飾られ、建築材に活用されます。市内で赤松は森林面積の約3分の1を占め、自然景観を豊かにしています。直立した幹と、四方へ末広がりの枝とは、市の発展を象徴するかのようです。



## 市の鳥 「鶯」

標高の高い山並みに囲まれ、緑の木々や溪谷を縫って流れる清流など、市の周辺は自然環境に恵まれています。早春から初夏にかけて最も多く聞ける鶯の鳴き声には、やすらぎを感じます。鶯は、自然に恵まれた平和な都留市を象徴しています。

# 市民憲章

## わたくしたち都留市民は

- \* 健康で明るいまちにいたします。
- \* 自然を愛し、美しいまちをつくります。
- \* 文化都市にふさわしい豊かなまちを築きます。
- \* たのしく働き活気ある産業のまちに育てます。
- \* たがいに信じ協力し、平和なまちをつくります。

(昭和44年4月15日制定)

